

国名 ベトナム	通関電子化促進プロジェクト
------------	---------------

**I 案件概要**

事業の背景	ベトナムは、自国の投資・ビジネス環境整備につなげるべく、ナショナル・シングルウィンドウ確立や通関手続きの簡素化・国際的調和化といった税関行政の近代化を推進していた。ベトナム税関総局（GDVC）は、必要な法令整備や人材育成を行ってきており、加えて IT システム構築を税関行政の近代化を達成するための重要な戦略として位置づけていた。かかる状況下、GDVC は、日本政府に対し、日本の輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）及び通関情報総合判定システム（CIS）の技術を活用した、ベトナムにおける通関 IT システムを構築する無償資金協力事業の実施を要請した。また、ベトナム政府は、無償資金協力事業の実施と並行して、ベトナム通関 IT システム（VNACCS・VCIS）導入に必要な法規制や運用・維持管理（O&M）体制の整備並びに人材育成を行う技術協力事業の実施も要請した。										
事業の目的	<p>本事業は、必要な法規制、VNACCS/VCIS の O&amp;M 体制、適切な情報管理規則/体制、適時かつ統一された事前教示制度の整備並びに GDVC 職員や民間利用者が VNACCS/VCIS を適切に利用するために必要な知識・スキルの習得を通じて、同システムが円滑に運用・維持管理されるための環境整備を図り、もってベトナムにおける貿易円滑化進展を目指す。</p> <p>1. 上位目標：ベトナムにおける貿易円滑化が進展する。 2. プロジェクト目標：VNACCS/VCIS が円滑に運用・維持管理されるための環境が整備される。</p>										
実施内容	<p>1. 事業サイト：ハノイ 2. 主な活動：(1)VNACCS/VCIS 関連法規制の改正、(2)税関職員向け説明会を実施する講師の育成、税関職員及び幹部職員向け説明会の実施、税関職員向け業務処理ガイドラインの作成、(3)ナショナル・シングルウィンドウ導入に向けた工程表案作成、ヘルプデスクやシステム運用担当技術者の配置を含む必要な O&amp;M 体制の構築、2020 年の税関分野における IT 活用マスタープランの作成、(4)民間利用者（銀行含む）向け説明会の実施、民間利用者向け業務処理マニュアルの作成、(5)必要な情報管理規則/体制の整備、情報管理マニュアルの作成、(6)事後調査（PCA）担当職員向けセミナー/ワークショップの実施、PCA ガイドラインの改訂、(7)事前教示ガイドラインの改訂など</p> <p>3. 投入実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">日本側</td> <td style="width: 50%;">相手国側</td> </tr> <tr> <td>(1) 専門家派遣：31 人</td> <td>(1) カウンターパート配置：89 人</td> </tr> <tr> <td>(2) 研修員受入：16 人</td> <td>(2) プロジェクトオフィス・設備</td> </tr> <tr> <td>(3) 現地活動費</td> <td>(3) 現地活動費</td> </tr> </table>			日本側	相手国側	(1) 専門家派遣：31 人	(1) カウンターパート配置：89 人	(2) 研修員受入：16 人	(2) プロジェクトオフィス・設備	(3) 現地活動費	(3) 現地活動費
日本側	相手国側										
(1) 専門家派遣：31 人	(1) カウンターパート配置：89 人										
(2) 研修員受入：16 人	(2) プロジェクトオフィス・設備										
(3) 現地活動費	(3) 現地活動費										
事業期間	2012 年 4 月～2015 年 7 月 (延長期間：2015 年 4 月～7 月)	事業費	(事前評価時) 481 百万円、(実績) 342 百万円								
相手国実施機関	ベトナム税関総局（GDVC）										
日本側協力機関	財務省、株式会社 NTT データ、アイ・シー・ネット株式会社、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社										

**II 評価結果**

**【留意点】**  
 ・[プロジェクト目標指標 2 の評価]指標 2（税関当局に対する税関手続き処理に係るクレームが減少する。）について、クレーム数は 2012 年から 2014 年に増加した。しかし、終了時評価報告書によれば、クレーム数には VNACCS に関するものだけでなく、GDVC に対する一般的なクレームも含まれており、新しいシステムの導入フェーズにおいては利用者が同システムに慣れていないことから、クレームが増加しやすい。一方、ベトナム日本商工会議所（JBAV）会頭によれば、VNACCS の導入当初には混乱が生じたが、時間が経つにつれて、企業が直面した VNACCS 関連の問題の大部分は解決され、事業完了時までに VNACCS は民間企業から高く評価された。指標 2 は事業完了時に上記理由に基づき評価された。同指標の継続状況については、事業完了後に特に VNACCS/VCIS に関連した税関手続き処理に係るクレーム数が減少したかに基づいて評価した。

**1 妥当性**

**【事前評価時・事業完了時のベトナム政府の開発政策との整合性】**  
 本事業は、事前評価時及び事業完了時において、「社会経済開発戦略（2011年～2020年）」「社会経済開発5カ年計画（2011年～2015年）」「2020年までの税関近代化戦略」（2011年発効）に掲げられた「ビジネス環境の改善及び国際競争力の強化」や「税関行政の近代化」というベトナムの開発政策に合致していた。

**【事前評価時・事業完了時のベトナムにおける開発ニーズとの整合性】**  
 本事業は、事前評価時及び事業完了時において、VNACCS/VCIS を効果的に活用するための、ベトナム税関職員や民間企業の人材育成に係る同国のニーズに合致していた。

**【事前評価時における日本の援助方針との整合性】**  
 本事業は、「対ベトナム国別援助計画」（2009年）に記載された日本の援助方針（「経済成長促進・国際競争力強化」を含む）とも合致していた。

**【評価判断】**  
 以上より、本事業の妥当性は高い。

2 有効性・インパクト

【プロジェクト目標の事業完了時における達成状況】

プロジェクト目標は事業完了時まで達成された。2014年4月から2015年3月までの輸出入申告件数は630万件で、うち約99%がVNACCSを通じて申告された（指標1）。税関手続き処理に係るクレーム数は2012年から2014年に増加した（2012年に296件、2013年に352件、2014年に354件）。しかし、既述のとおり、クレーム数にはVNACCSに関するものだけでなく、GDVCに対する一般的なクレームも含まれており、地方税関署や企業数社の職員によれば、VNACCSは作業効率を大きく向上させたため、概して高く評価された。JBAV会頭も、VNACCSの導入当初には混乱が生じたが、時間が経つにつれて、企業が直面したVNACCS関連の問題の大部分は解決され、事業完了時までVNACCSは民間企業から高く評価されたと述べている（指標2）。VNACCS/VCISの稼働率は事業完了時においていずれも99.9%であった（指標3）。

【プロジェクト目標の事後評価時における継続状況】

事業効果は事後評価時までおおむね継続している。下表に示すとおり、事業完了以降、輸出入申告件数のうちVNACCSを通じた申告件数の割合は96%以上を保っている（指標1）。しかし、下表に示すとおり、事業完了以降、特にVNACCS/VCISに関連した税関当局に対する税関手続き処理に係るクレーム数が増加している。主な理由としては、税関関連規則や規制が定期的に変更・改訂されるが（電子文書の提出手続き変更に係る法令No. 59/2018/ND-CPや通達No. 39/2018/TT-BTCなど）、このような変更がVNACCS/VCISに適時に反映されないため、同システムの運用を困難にしており、ひいては同システムに対するクレーム数の増加につながっていることがあげられる（指標2）。下表に示すとおり、事業完了以降、定期維持管理に係る時間を含むVNACCS/VCISの稼働率は97%以上を維持している<sup>2</sup>（指標3）。

【上位目標の事後評価時における達成状況】

上位目標は事後評価時まで達成された。簡易審査（すなわち、リスクの低いグリーン判定基準のもの）については、企業が税関職員に審査書類を提出する必要がなく、審査・許可がVNACCS上で自動的に行われるため、企業が通関手続きの申請登録をしてから自動的に許可が下りるまで、0秒である。書類審査についても、所要時間は事業実施前の所要時間（最大で1~2時間）と比して大幅に削減された。しかし、下表に示すとおり、書類審査と現場（検査ヤード）での物理的な検査にかかる時間は2017年と2018年にわずかに増加した。主な理由としては、企業の輸出入需要に従って、以前と比して輸入品の種類に変化が生じたことにより、税関記録の複雑さにも変化が生じていることなどがあげられる。よって、GDVCにはこのような経済状況の変化に対応していくためのさらなる努力が求められる（指標1）。通関手続きの効率化指標（世界銀行統計のロジスティクス・パフォーマンス・インデックス（LPI）の1つ）の目標値は、下表に示すとおり、おおむね達成された（指標2）。すべての関連省庁が事後評価時までナショナル・シングルウィンドウ・ポータルに接続している（指標3）。

【事後評価時に確認されたその他のインパクト】

本事業による自然環境への負のインパクトや用地取得・住民移転は発生していない。

【評価判断】

よって、本事業の有効性・インパクトは高い。

プロジェクト目標及び上位目標の達成度

目標	指標	実績																														
プロジェクト目標 VNACCS/VCIS が円滑に運用・維持管理されるための環境が整備される。	1. 輸出入申告件数のうち VNACCS を通じた申告件数の割合が 80%になる。	達成状況：達成（継続） （事業完了時）輸出入申告件数の約 99%が VNACCS を通じて申告された。 （事後評価時）輸出入申告件数の 96%以上が VNACCS を通じて申告されている。 （単位：1,000）																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>輸入申告件数</th> <th>うち、VNACCS を通じて申告された輸入件数</th> <th>輸出申告件数</th> <th>うち、VNACCS を通じて申告された輸出件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年</td> <td>4,350</td> <td>4,279 (98.4%)</td> <td>4,160</td> <td>4,128 (99.2%)</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>5,043</td> <td>4,872 (96.6%)</td> <td>4,757</td> <td>4,690 (98.6%)</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>5,893</td> <td>5,725 (97.1%)</td> <td>5,417</td> <td>5,354 (98.8%)</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>6,244</td> <td>6,114 (97.9%)</td> <td>6,001</td> <td>5,968 (99.5%)</td> </tr> <tr> <td>2019年7月まで</td> <td>3,689</td> <td>3,656 (99.1%)</td> <td>3,764</td> <td>3,750 (99.6%)</td> </tr> </tbody> </table>		輸入申告件数	うち、VNACCS を通じて申告された輸入件数	輸出申告件数	うち、VNACCS を通じて申告された輸出件数	2015年	4,350	4,279 (98.4%)	4,160	4,128 (99.2%)	2016年	5,043	4,872 (96.6%)	4,757	4,690 (98.6%)	2017年	5,893	5,725 (97.1%)	5,417	5,354 (98.8%)	2018年	6,244	6,114 (97.9%)	6,001	5,968 (99.5%)	2019年7月まで	3,689	3,656 (99.1%)	3,764	3,750 (99.6%)
		輸入申告件数	うち、VNACCS を通じて申告された輸入件数	輸出申告件数	うち、VNACCS を通じて申告された輸出件数																											
2015年	4,350	4,279 (98.4%)	4,160	4,128 (99.2%)																												
2016年	5,043	4,872 (96.6%)	4,757	4,690 (98.6%)																												
2017年	5,893	5,725 (97.1%)	5,417	5,354 (98.8%)																												
2018年	6,244	6,114 (97.9%)	6,001	5,968 (99.5%)																												
2019年7月まで	3,689	3,656 (99.1%)	3,764	3,750 (99.6%)																												
2. 税関当局に対する税関手続き処理に係るクレームが減少する。	達成状況：達成（継続していない） （事業完了時）税関手続き処理に係るクレーム数は2012年から2014年に増加したが、VNACCSに関するものだけでなく、GDVCに対する一般的なクレームも含まれていた。地方税関署職員、いくつかの企業、JBAV 会頭によれば、VNACCS は概して高く評価された。 （事後評価時）事業完了以降、クレーム数は増加しているが、パーセンテージではかなり安定した（小さい）数値に抑えられている。																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>税関当局に対する税関手続き処理に係るクレーム数</th> <th>輸出入申告数</th> <th>パーセンテージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年</td> <td>3,637</td> <td>8,510,000</td> <td>0.04%</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>6,880</td> <td>9,800,000</td> <td>0.07%</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>7,032</td> <td>11,310,000</td> <td>0.06%</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>4,474</td> <td>12,245,000</td> <td>0.04%</td> </tr> <tr> <td>2019年8月まで</td> <td>3,920</td> <td>7,453,000</td> <td>0.05%</td> </tr> </tbody> </table>		税関当局に対する税関手続き処理に係るクレーム数	輸出入申告数	パーセンテージ	2015年	3,637	8,510,000	0.04%	2016年	6,880	9,800,000	0.07%	2017年	7,032	11,310,000	0.06%	2018年	4,474	12,245,000	0.04%	2019年8月まで	3,920	7,453,000	0.05%							
	税関当局に対する税関手続き処理に係るクレーム数	輸出入申告数	パーセンテージ																													
2015年	3,637	8,510,000	0.04%																													
2016年	6,880	9,800,000	0.07%																													
2017年	7,032	11,310,000	0.06%																													
2018年	4,474	12,245,000	0.04%																													
2019年8月まで	3,920	7,453,000	0.05%																													
3. VNACCS/VCIS が適切に維持管理され、目標の稼働率 99.9%が達成される。	達成状況：達成（継続） （事業完了時）VNACCS/VCIS の稼働率はいずれも 99.9%であった。 （事後評価時）事業完了以降、定期維持管理に係る時間を含む VNACCS/VCIS の稼働率は97%以上を維持している <sup>2</sup> 。																															

<sup>1</sup> VNACCS/VCIS の稼働率は次のように算出される。稼働率=[(総時間数)-(システム停止時間数)]/(総時間数)x100

<sup>2</sup> 事業完了以降、システムエラーやその他の問題によるシステム停止はない。

		働率は97%以上を維持している。																		
		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>VNACCS 稼働率</th> <th>VCIS 稼働率</th> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>98.8%</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>97.6%</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>98.0%</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>98.7%</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>2019年7月まで</td> <td>99.4%</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>		VNACCS 稼働率	VCIS 稼働率	2015年	98.8%	99.9%	2016年	97.6%	99.9%	2017年	98.0%	99.9%	2018年	98.7%	99.9%	2019年7月まで	99.4%	99.9%
	VNACCS 稼働率	VCIS 稼働率																		
2015年	98.8%	99.9%																		
2016年	97.6%	99.9%																		
2017年	98.0%	99.9%																		
2018年	98.7%	99.9%																		
2019年7月まで	99.4%	99.9%																		

上位目標 ベトナムにおける貿易円滑化が進展する。	1. 通関所要時間が簡易審査で3分（申告から許可まで）、書類審査で15分（書類審査開始から書類審査終了まで）になる。	（事後評価時）達成 書類審査と現場（検査ヤード）での物理的な検査にかかる時間は2017年と2018年にわずかに増加したが、目標値はおおむね達成された。																								
		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>簡易審査の通関所要時間（輸出入）（平均）</th> <th>書類審査の通関所要時間（輸入）（平均）</th> <th>書類審査の通関所要時間（輸出）（平均）</th> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>3分</td> <td colspan="2">15分</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>0秒</td> <td>14分21秒</td> <td>4分12秒</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>0秒</td> <td>15分34秒</td> <td>5分35秒</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>0秒</td> <td>19分48秒</td> <td>8分41秒</td> </tr> </table>		簡易審査の通関所要時間（輸出入）（平均）	書類審査の通関所要時間（輸入）（平均）	書類審査の通関所要時間（輸出）（平均）	目標値	3分	15分		2015年	0秒	14分21秒	4分12秒	2016年	N/A	N/A	N/A	2017年	0秒	15分34秒	5分35秒	2018年	0秒	19分48秒	8分41秒
	簡易審査の通関所要時間（輸出入）（平均）	書類審査の通関所要時間（輸入）（平均）	書類審査の通関所要時間（輸出）（平均）																							
目標値	3分	15分																								
2015年	0秒	14分21秒	4分12秒																							
2016年	N/A	N/A	N/A																							
2017年	0秒	15分34秒	5分35秒																							
2018年	0秒	19分48秒	8分41秒																							
	2. 貿易手続きの効率化指標が改善する。	（事後評価時）達成 通関手続きの効率化指標（世界銀行統計のロジスティクス・パフォーマンス・インデックス（LPI）の1つ）の目標値は、おおむね達成された。																								
		<table border="1"> <tr> <th>Year</th> <th>スコア目標値</th> <th>スコア実績値</th> <th>ベトナムのランキング</th> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>-</td> <td>2.68</td> <td>155カ国中53位</td> </tr> <tr> <td>2012年</td> <td>-</td> <td>2.65</td> <td>155カ国中63位</td> </tr> <tr> <td>2014年</td> <td>-</td> <td>2.81</td> <td>160カ国中61位</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>3.00</td> <td>2.75</td> <td>160カ国中64位</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>-</td> <td>2.95</td> <td>160カ国中39位</td> </tr> </table>	Year	スコア目標値	スコア実績値	ベトナムのランキング	2010年	-	2.68	155カ国中53位	2012年	-	2.65	155カ国中63位	2014年	-	2.81	160カ国中61位	2016年	3.00	2.75	160カ国中64位	2018年	-	2.95	160カ国中39位
Year	スコア目標値	スコア実績値	ベトナムのランキング																							
2010年	-	2.68	155カ国中53位																							
2012年	-	2.65	155カ国中63位																							
2014年	-	2.81	160カ国中61位																							
2016年	3.00	2.75	160カ国中64位																							
2018年	-	2.95	160カ国中39位																							
	3. 複数の省庁がナショナル・シングルウィンドウに参加する。	（事後評価時）達成 すべての関連省庁・機関がナショナル・シングルウィンドウ・ポータルに接続している。接続している省庁・機関は、財務省、運輸省、商工省、農業農村開発省、天然資源環境省、保健省、情報通信省、文化スポーツ観光省、国防省、公安省、ベトナム商工会議所、ベトナム国家銀行を含む。																								

出所：終了時評価報告書、GDVC への質問票調査及びインタビュー、「税関近代化のための通関電子化及びナショナル・シングルウィンドウ導入計画」（無償資金協力事業、2019年に事後評価実施）の事後評価結果、世界銀行統計のロジスティクス・パフォーマンス・インデックス（LPI）のグローバルランキング

**3 効率性**  
事業費は計画内に収まったが、事業期間は計画を上回った（計画比はそれぞれ71%、111%）。VNACCS/VCIS導入後、少なくとも1年間は使用状況のモニタリングが必要であると判断されたため、事業期間が延長された。本事業のアウトプットは、計画どおり産出された。よって、効率性は中程度である。

**4 持続性**  
【政策制度面】  
税関行政の近代化に係るニーズは、「2020年までの税関近代化戦略」「2016年～2020年の税関改革・近代化計画に係る決議」（決議No. 1614/QD-BTC）並びに「2020年までの税関近代化戦略承認に係る決議」（決議No. 448/QD-TTg）などに明記されている。  
【体制面】  
GDVCでは、計116名の職員を有する情報技術・税関統計局がVNACCS/VCISのO&Mを担当している。同局内には、ITシステムオペレーションチームと呼ばれる部門があり、同システムの継続的な運用を担保するため、5名の職員が交代で24時間/日・7日間/週勤務している。加えて、同システムの運用をサポートすべく、387名の職員が地方税関署に在籍している。GDVCによれば、既述のとおり、高いシステム稼働率が維持されていることから、職員数は同システムを適切に運営・維持管理する上で十分である。  
【技術面】  
本事業で技術移転を受けた職員の大部分が、引き続きGDVCに勤務している。GDVCによれば、VNACCS/VCISが深刻なシステム停止もなく、安定して運用されていることから、GDVC職員のスキルレベルは概して十分である。しかし、新規に配属された税関職員がVNACCS/VCISでの処理に慣れるまでに時間がかかっているため、新規配属職員に対するより多くの研修が必要である。研修については、2016年から2019年にGDVCの事後調査局がPCAに係る10のトレーニングコースを実施し、本部と地方税関署の税関職員615名以上が参加した。また、本事業コンサルタントのNTTデータが2017年10月～12月と2018年1月にVNACCS/VCISのO&Mに係る研修を実施し、24名のGDVC職員が参加した。本事業で作成されたVNACCS/VCISの利用マニュアルは継続して活用されており、VNACCS/VCISは2年契約に基づきベンダーにより適切に維持管理されている。しかし、できる限り早期に行われるべきハードウェア更新について、GDVCと保守ベンダーとの間で主に妥当な価格要件に係る考えが異なることから、議論が難航しているのが見受けられた。これが解決しなければ、円滑で適切なシステム運用が継続されなくなる恐れがある。  
【財務面】  
財務省はVNACCS/VCISのO&Mについて、2015年～2017年に1,260億VND、2017年～2019年に1,110億VNDと一定額の予算を配分している。既述のとおり、高いシステム稼働率が維持されていることから、予算額はシステムを適切に運営・維持管理する上で十分であると考えられる。  
【評価判断】  
以上より、技術面に一部問題があり、本事業によって発現した効果の持続性は中程度である。

**5 総合評価**  
本事業では、事業完了時にプロジェクト目標が達成され、事後評価時に上位目標が達成された：事業完了時の VNACCS を通

じた申告件数の割合と VNACCS/VCIS の稼働率は 99% に達していた。また、事後評価時には通関所要時間が大幅に削減され、通関手続きの効率化指標が改善された。持続性に関して、政策制度面、体制面、財務面に問題はみられなかったものの、新規に配属された税関職員のスキル不足やハードウェア更新に係る、GDVC と保守ベンダーとの間での契約締結の困難さなどの問題がみられた。効率性に関して、事業期間が計画を上回った。

以上より、総合的に判断すると、本事業の評価は高いといえる。

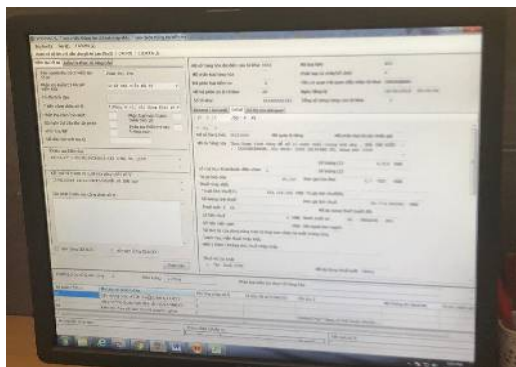
### III 提言・教訓

実施機関への提言：

・既述のとおり、税関関連規則や規制の変更が VNACCS/VCIS に適時に反映されないことにより、事業完了以降、税関手続き処理に係るクレーム数が増加している。よって、GDVC は規則や規制の変更を適時にシステムに反映することが望まれる。

JICA への教訓：

・既述のとおり、本事業は VNACCS/VCIS の導入に備えるとともに、無償資金協力事業で開発された VNACCS/VCIS の円滑な O&M を実現するために実施された。同無償資金協力事業ではいくつかの非政府組織（コンサルタントやベンダーなど）が従事した。これらの非政府組織はシステムのノウハウを保有しており、利益の最大化を含む市場経済のルールを追従するため、(GDVC と非政府組織の間における)「情報の非対称性」(情報格差)が生じている。その結果、VNACCS/VCIS のハードウェア更新に係る契約締結のための議論が難航し、システムの持続性が確保されなくなる恐れがある。よって、類似の将来事業において非政府組織を巻き込む場合は、「情報の非対称性」に起因するシステムの持続性に係るリスクについて注意深く分析し、事前にリスク緩和策を用意しておく必要がある。



VCIS のオペレーション画面



税関カウンター（サイゴンハイテクパーク支所）